

人には『運命』というものが、あります。

もし、すべてのことが偶然ではないとするならば、皆さんが、弊社で働いているということ、この会社で出逢った方々との“縁”というものに対して、とても大きな意味があるのかも。

人は何のために働くのか？

「お金」という答えが一般的だと思うけど、これは本質ではない。

たしかに人は「お金」を得るために仕事をする。しかし、そもそも人は何のためにお金を求めるのだろうか？

それはお金を得ることで「自分の望むもの」を手に入れたいから。

お金があれば、食事をすることができる、家族を養うこともできる、自分の夢を叶えることもできる。だから人はつらくても苦しくても会社のために働こうとするんだよね。

つまり働く人が求めているものは、『お金』そのものではなく、

その先にある『自分の望むもの』を手に入れるためなんだよ。

例えば、「掃除」という仕事があった時、もし人はお金で働くと考えれば、この仕事をしってもらうために、お金を支払わなければならない。

でも、もしその人がサッカーファンで、掃除する部屋が「ベッカム選手の部屋」だったら、どうだろう？

たとえ無料でもやりたいと言うのではないだろうか？それどころか、お金を払ってでもやりたい、というかも知れない。仕事に自分の価値を見いだした時、人は喜んで働こうとする。人が働くカギは『お金』ではない、その仕事が持っている『価値』なんだよね。

我が社が求めるべき人財は、我が社の仕事に対して強い価値を感じてくれる人。

もちろん本気でそう感じてもらうために、会社の全てを見直して、本当に価値のある業務にする努力をしなければならなかった。

そして少しずつ会社が変わっていった。

社員が業務や会社全体に特別な『価値』を感じることができる会社になってきたと思う。

一方で、我が社の仕事に価値を見いだせない人は、一人、また一人と去っていった。

その後、ここで働きたいという人がどんどん増えていき、今では、“給与はいくらでもいい”という人が多くなってきました。

そして、何よりすばらしいのは、社員同士の強力な結束力と仕事の質が極めて高くなったこと。おかげさまで、我が社では、仕事から「手を抜く」人がいなくなりました。

みんなが、全力で仕事に取り組むようになった。そりゃそう、給与はいくらでもいいんだから、本気でやりたい、ここで働きたい、と思ってる人でなければ、うちの仕事をやって

いるはずがないもの。

人には、人それぞれいろんな考え方がある。

もちろん、それ自体は否定しないし、自分の価値観はもってた方がいい。

しかし、会社は組織なので、全員が同じ目標に向かう必要があります。

そのために、会社の**理念、方針**について全社員が理解し、認識しなければなりません。

野球に例えるならば、選手一人ひとは、いろんな価値観や野球観があると思うけど、チームという組織の中では、監督の考えに、共感共鳴し、選手全員がチームプレーに徹しなければ、本当に強いチームとはいえないよね。

私も現在、若松の早起き野球のオーナー兼監督をしていますが、以前はプロ野球とか見ててどうして、弱いチームの監督は責任とって辞めさせられたりするのかが不思議でした。

だって、実際プレーしてるのは選手だもの、監督代わっても同じじゃないの？って。

でも、自分が監督になってみて、野球も会社と同じだなって、思うようになりました。

野球のおもしろさは、チームプレーと戦略で勝つ、ということ。

つまり、個人の技術がいくら高くても、個人プレーだけでは野球は勝てないし、なんの戦略も持たずに、勝手に投げたり打ったりしてても、勝利には結びつかないと思う。

その個人をまとめるのが、監督の仕事であり、チームプレーに戦略を考えるのも、監督の役目。

案外、社長と監督、会社とチームって似てるよなって思う。

つまり、勝てるチーム(会社)とは、監督(社長)の考え方、チーム(会社)の方針がしっかりして、その方針に全員が賛同して同じ方向、同じ目標に向かって突き進んでいるということ。

会社もそうだよな、倒産したら、社長の責任でしょ？

社長が優秀なのに、社員がダメで、倒産したってのは聞いたことない。

逆に社員が優秀なら、誰が社長でも同じなの？ それも違うな。

どんなに優秀な社員がそろっていても、みんな好き勝手な仕事してたら、業績はあがらない。いわゆるチームプレー。助け合いこそ組織なんだと。

平成 18 年 3 月吉日

株式会社 杉原建築設計事務所
代表取締役 杉原 吉朝